

環境データ集

マテリアルバランス

カテゴリー	物質名	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		単位
		連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	
INPUT	電力	95	25	88	22	98	23	94	23	95	22	万MWh
	ガス類	165	23	141	20	166	19	150	20	142	19	万MWh
	石油類	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	万MWh
	原材料	15	3	14	3	16	2	15	3	14	3	万トン
	うちリサイクル材料	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	万トン
	PRTR	589	236	506	188	447	186	511	160	963	176	トン
	取水	433	155	378	145	437	141	414	120	423	131	万m ³
OUTPUT	エネルギー起源CO ₂	87	16	76	13	63	12	59	13	59	14	万トン-CO ₂
	同上 (CN LNGの効果含む) [*]	-	-	-	-	62	10	56	10	56	11	万トン-CO ₂
	その他温室効果ガス計	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	万トン-CO ₂
	CO ₂ (非エネルギー起源)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	CH ₄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	N ₂ O	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	HFC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	PFC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	SF ₆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	VOC	68	0	83	0	77	1	107	1	88	4	トン
	PRTR (大気への排出)	76	3	89	3	84	2	110	2	92	5	トン
	排出物	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	万トン
	うち再資源化量	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	万トン
	うち外部処分量	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	万トン
	排水	314	140	253	109	274	103	268	80	271	86	万m ³
	PRTR (水域への排出)	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	トン
	Scope1 (エネルギー起源CO ₂)	31	4	26	4	31	4	28	4	27	4	万トン-CO ₂
同上 (CN LNGの効果含む) [*]	-	-	-	-	29	2	25	1	24	1	万トン-CO ₂	
Scope2 (エネルギー起源CO ₂)	56	11	49	10	33	9	31	9	32	10	万トン-CO ₂	

(注) 本表に記載の環境パフォーマンスを表す数値は便宜上、四捨五入しているため、個々の数値を合計しても総計と一致しない場合があります。

(注) 排出物は、産業廃棄物と有価物の合計を示します。

(注) 単独欄の数字は、日本ガイン単独の生産拠点(本社/名古屋事業所、知多事業所、小牧事業所、石川工場)のデータです。

(注) 連結のOUTPUT/エネルギー起源CO₂(CN LNGの効果含む)、Scope2(エネルギー起源CO₂)の値は、単独の値と同様に電力の排出係数(電力の使用量をCO₂に換算する係数)について、

従来の固定値から年度ごとの電力会社実績値に2020年度より算定基準を変更しました。

※ CN LNG(カーボンニュートラルLNG)は、CO₂クレジットでオフセットし、CO₂が発生しないとみなされるLNGです。ただし、省エネ法などでは現在クレジットの対象になっていないため、区別し記載しています。

マテリアルバランス計算根拠

INPUT	1. エネルギー	<p>電力 電力使用量</p> <p>ガス類 燃料の種類ごとの使用量を熱量に換算した量 $= \sum (\text{各燃料使用量} \times \text{各燃料の単位発熱量})$ <燃料の単位発熱量> 天然ガス・中国 (MJ/Nm³) 43.5/38.9/42.5^{*1}, 天然ガス・中国以外 (MJ/Nm³) 43.5/42.5^{*2}, 都市ガス・日本ガイス単独 (MJ/Nm³) 45, 都市ガス・日本ガイス単独以外 (MJ/Nm³) 45/44.8/45^{*1}, その他のガス 地球温暖化対策の推進に関する法律の値</p> <p>石油類 燃料の種類ごとの使用量を熱量に換算した量 $= \sum (\text{各燃料使用量} \times \text{各燃料の単位発熱量})$ <燃料の単位発熱量> 地球温暖化対策の推進に関する法律の値 ※1 / の左は2019～2020年度、中央は2021～2022年度、右は2023年度よりデータ使用 ※2 / の左は2019～2022年度、右は2023年度よりデータ使用</p>	
	2. 取水	水道水、工業用水、地下水、雨水の合計	
	3. PRTR 物質	日本のPRTR法第1種指定化学物質の取り扱い量の合計	
	4. 原材料	製品の製造に使用された原材料の重量の合計	
OUTPUT	5. エネルギー起源CO ₂ 排出量	<p>エネルギー起源CO₂排出量 = $\sum (\text{各エネルギー使用量} \times \text{各エネルギーのCO}_2\text{換算係数})$ <エネルギーのCO₂換算係数></p> <p>電力 日本 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく電気事業者別調整後排出係数の値, 米国 (NMC, FMIカリフォルニア, NL以外) Green-eの値, 米国 (NMC, FMIカリフォルニア, NL) Green-eの値/電力会社の公表値^{*1}, ベルギーおよびフランス AIBの値, オーストラリア Australian National Greenhouse Accountsの値, ポーランド AIBの値/ポーランド排出管理国家センターの値^{*1}, 中国 IEAの値/中華人民共和国生态环境部の値/IEAの値^{*2}, その他の国 IEAの値</p> <p>燃料 天然ガス・中国 (kgCO₂/Nm³) 2.22/2.16/2.17^{*2}, 天然ガス・中国以外 (kgCO₂/Nm³) 2.22/2.17^{*3}, 都市ガス・日本ガイス単独 (kgCO₂/Nm³) 2.244/2.29/2.27^{*2}, 都市ガス・日本ガイス単独以外 (kgCO₂/Nm³) 2.23/2.27^{*3} その他の燃料 地球温暖化対策の推進に関する法律の値 ※1 / の左は2019～2020年度、右は2021年度よりデータ使用 ※2 / の左は2019～2020年度、中央は2021～2022年度、右は2023年度よりデータ使用 ※3 / の左は2019～2022年度、右は2023年度よりデータ使用</p>	
	6. その他の温室効果ガス排出量	その他の温室効果ガス排出量 (tCO ₂) = 活動量 × 排出係数 × 地球温暖化係数 <地球温暖化係数> 地球温暖化対策の推進に関する法律の値	
	7. 排水	排水量の合計。ただし、雨水排水量は除外	
	8. PRTR 物質	水域への排出：日本のPRTR法第1種指定化学物質の公共用水域への排出量の合計 大気への排出：日本のPRTR法第1種指定化学物質の大気への排出量の合計	
	9. 排出物総発生量	<p>排出物総発生量 = 外部処分量^(※1) + 外部再資源化量 再資源化量：外部再資源化量 = 有償委託^(※2) + 有価物(売却)量 ※1 外部処分量：直接埋立、単純焼却を行っているもの。 ※2 有償委託：有償で外部に処理を委託し、再資源化するもの。</p>	
	10. Scope1～3	Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼や工業プロセスでの発生)
		Scope2	他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出
		Scope3	Scope1,2以外のバリューチェーン全体を通じた温室効果ガスの間接排出

温室効果ガス (GHG) 排出量

項目	カテゴリー	区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
GHG 排出量 (Scope1+2: エネルギー起源CO ₂) ^{※1}	-	CN LNGの効果含む ^{※2}	87	76	62	56	56	万トン-CO ₂
GHG 排出量 (Scope1: エネルギー起源CO ₂) ^{※1}	-	CN LNGの効果含む ^{※2}	31	26	29	25	24	万トン-CO ₂
GHG 排出量 (Scope2: エネルギー起源CO ₂) ^{※1}	-	-	56	49	33	31	32	万トン-CO ₂
売上高原単位 (Scope1+2: エネルギー起源CO ₂) ^{※1}	-	CN LNGの効果含む ^{※2}	198	167	120	100	96	トン-CO ₂ /億円
GHG 排出量 (Scope3) (2020年度まで単独、2021年度から連結)	合計		97.7	89.3	344.9	351.9	327.0	万トン-CO ₂
	1	購入した製品・サービス	84.2	77.0	178.8	192.2	188.1	万トン-CO ₂
	2	資本財(設備投資)	9.9	9.0	13.4	13.9	15.7	万トン-CO ₂
	3	エネルギー	1.6	1.5	8.6	8.2	8.1	万トン-CO ₂
	4	輸送(上流)	1.4	1.3	18.8	11.1	10.8	万トン-CO ₂
	5	廃棄物	0.2	0.2	1.2	1.0	1.0	万トン-CO ₂
	6	出張	0.1	0.1	0.3	0.3	0.3	万トン-CO ₂
	7	雇用者の通勤	0.2	0.2	0.9	0.9	0.8	万トン-CO ₂
	8	リース資産(上流)	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂
	9	輸送(下流)	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂
	10	販売した製品の加工	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂
	11	販売した製品の使用	-	-	122.6	123.9	101.9	万トン-CO ₂
	12	販売した製品の廃棄	-	-	0.4	0.4	0.4	万トン-CO ₂
	13	リース資産(下流)	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂
	14	フランチャイズ	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂
15	投資	-	-	-	-	-	万トン-CO ₂	
その他のGHG 排出量 ^{※1}	合計		0	0	0	0	1	万トン-CO ₂
	-	CO ₂ (非エネルギー起源)	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	-	CH ₄	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	-	N ₂ O	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	-	HFC	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	-	PFC	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂
	-	SF ₆	0	0	0	0	0	万トン-CO ₂

※1 範囲は連結

※2 CN LNG(カーボンニュートラルLNG)は、CO₂クレジットでオフセットし、CO₂が発生しないとみなされるLNGです。ただし、省エネ法などでは現在クレジットの対象になっていないため、区別し記載しています。

エネルギー使用量

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
電力	95	88	98	94	95	万MWh
ガス類	165	141	166	150	142	万MWh
石油類	2	2	2	2	2	万MWh
売上高原単位	596	513	522	442	413	MWh/億円

範囲は連結

水資源の保全

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位	
取水	水道水・工業用水	371.0	313.5	372.0	349.4	361.6	万m ³
	地下水	62.0	64.0	61.4	64.8	60.8	万m ³
	雨水	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	万m ³
	合計	433.1	377.7	433.6	414.3	422.6	万m ³
排水	河川	82.8	73.4	73.3	70.5	68.1	万m ³
	湖沼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	万m ³
	海域	161.8	120.1	121.8	115.2	123.8	万m ³
	下水道	41.9	37.6	45.8	50.7	49.6	万m ³
	工業団地処理	24.1	20.7	23.8	23.3	24.3	万m ³
	その他	1.3	1.7	5.7	7.9	5.4	万m ³
	合計	314.0	253.4	270.4	267.7	271.2	万m ³
水消費量	119.1	124.3	163.2	146.6	151.4	万m ³	
リサイクル量	9.0	6.6	6.3	7.7	10.2	万m ³	
リサイクル率 [※]	2.0	1.7	1.5	1.9	2.4	%	

範囲は連結

※(リサイクル率) = (リサイクル量) / (取水の合計)

原材料

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
原材料	15	14	16	15	14	万トン
うちリサイクル材料	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4	万トン

範囲は連結

化学物質管理

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
VOC	68	83	77	107	88	トン
PRTR (大気への排出)	76	89	84	110	92	トン
PRTR (水域への排出)	1	0	1	1	1	トン

範囲は連結

廃棄物管理

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
排出物	5	5	5	5	5	万トン
うち再資源化量	4	4	4	4	4	万トン
うち外部処分量	1	1	1	1	1	万トン
うちプラスチックの再資源化量+外部処分量	-	-	-	-	0.1	万トン
売上高原単位	12.5	10.3	10.5	8.4	8.3	トン/億円
対BAU削減率 [※]	24	24	26	31	31	%

範囲は連結

※2013年度を基準とした生産量原単位の改善率

有害物質管理

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位	
PCB廃棄物	処分対象検討台数	26	166	39	179	104	台
	処分量	5,097	21,999	11,480	28,805	470	kg

範囲は連結

環境貢献製品・サービス

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
環境貢献製品・サービスの売上高比率	59	57	59	59	64	%

範囲は連結

環境会計

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
環境保全コスト／設備投資 ^{※1}	13.6	26.8	9.4	19.4	28.6	億円
環境保全コスト／費用 ^{※1}	29.8	35.0	41.4	31.8	50.0	億円
経済効果 ^{※1}	5.7	4.5	6.9	7.7	7.2	億円
費用対効果 ^{※1 ※2}	19.2	12.9	16.7	24.1	14.4	%
CO ₂ 環境効率 ^{※3 ※4 ※5}	109	122	187	226	233	%
排出物環境効率 ^{※3 ※4 ※6}	146	176	172	216	217	%

※1 範囲は日本ガイシ・国内グループ会社

※2 (費用対効果) = (経済効果) / (費用)

※3 範囲は連結

※4 2013年度を100%とする

※5 (CO₂環境効率) = (売上高) / (CO₂排出量)

※6 (排出物環境効率) = (売上高) / (排出物発生量)

環境マネジメントシステム

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
日本ガイシ	4	4	4	4	4	取得拠点数
国内グループ会社	22	18	19	19	19	取得拠点数
海外グループ会社	21	21	21	21	21	取得拠点数

稼働開始2年以内の新たな生産拠点は対象外

環境監査

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
重大な指摘事項	0	0	0	0	0	件

範囲は連結

環境リスクマネジメント

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
重大な指摘事項	0	0	0	0	0	件

範囲は連結

環境関連の外部評価

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CDP-Climate Change	A-	B	B	A-	A-
CDP-Water Security	B-	B	B	A-	B
CDP SUPPLIER ENGAGEMENT	B	B	A	A-	B

範囲は連結

eco 検定合格者数

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	単位
合格者数	37	73	44	29	43	人

範囲は日本ガイシ